

～ストロンチウム-89の治療を受ける患者さんやご家族の方～

I. このお薬による治療について

1. お薬について

このお薬はがんの骨転移による、骨の痛みをやわらげるための注射用のお薬で、治療に適した放射線が放出されます。

お薬は、注射されると骨の成分であるカルシウムと同じように骨に運ばれ、がんの骨転移部位では長くとどまり、その部位に放射線があたることによって痛みがやわらぎます。

お薬の効いた患者さんにおいては、通常注射後1～2週間後から痛みがやわらぎます。

なお、このお薬は骨の痛みをやわらげることを目的としており、がんや、転移そのものの治療が目的ではないことをあらかじめご理解下さい。

2. 副作用について

- 1) 血小板や白血球が注射前に比べて20～30%減少することがあります。また、まれに、血小板のより著しい減少、貧血、または、汎血球減少症（血小板、白血球、赤血球やヘモグロビンなどの細胞数がともに減少する）がみられたとの報告があります。このようなことから、注射前と注射後は、定期的に血液検査を受けてください。必要に応じ適切な処置を行います。
- 2) 5～15%の患者さんで、注射して2～3日後に、一時的に（2～5日間）痛みが増すことがあります。その場合、必要に応じて痛み止めのお薬を増やしてその痛みをやわらげる治療を行います。

II. 注射前の注意について

- お薬注射前の絶食は不要ですが、カルシウム剤を服用されている場合には医師とご相談下さい。
- 骨に集まらなかったストロンチウム-89を、早く尿に出すために、注射当日を含み数日間は、十分に水分をとって下さい。



III. 注射後の注意について

- このお薬の効果がみられるまでは、それまで使用していた痛み止めのお薬はそのまま服用してください。痛み止めのお薬を減らす場合は、医師の指示にしたがってください。



- 骨の痛みがやわらいでも、以前のような活動をする、骨折するおそれがありますので、日常の活動に戻ることは、医師の指示にしたがってください。
- 女性の方は、注射後2年間は避妊をして下さい。また、授乳中の場合、注射後1年間は授乳を中止して下さい。



- 他科や他の病院で治療を受ける場合には、常に患者情報カードを携帯し、ストロンチウム-89による治療を受けていることを、その医師に伝えて下さい（投与後1年間）。

ストロンチウム-89治療に関する患者さんの情報	
患者氏名: _____	年齢: _____ 歳
住所: _____	〒 _____
連絡先: _____	病院: _____ 科: _____
	Tel: _____ 内線: _____
<small>放射性医薬品(6-89)取扱施設 施設名: _____ 番号: _____</small>	
投与日: _____	投与量: _____

IV. 注射後の周囲の人への注意について

お薬から出される放射線はベータ線とよばれ、体内では最大8mmの範囲にしか影響を及ぼしません。したがって、体内にあるストロンチウム-89による周囲の人への影響は、ほとんどなく、この治療のために入院する必要はありません。

ただし、注射後1週間くらい血液と尿に残るので、血液や尿の取扱いには十分に注意し、ご家族や介護者の方に影響が及ばないようにする必要があります。

なお、これらの注意に関して、最後に一覧表にしました。

- 注射後1週間後、特に最初の2日間は、骨に集まらなかったストロンチウム-89が、たくさん尿から排泄されますので、下着やトイレをよごさないようにし、以下の注意をお願いします。
 - 男性の方も、便座にこしかけて排尿して下さい。
 - トイレの使用後は、トイレの水を2回流して下さい。
 - 尿や血液がこぼれた場合は、トイレトペーパーできれいにふきとり、トイレに流して下さい。
 - もし、けがをした場合、こぼれた血液を洗い流して下さい。血液はトイレトペーパーできれいにふきとり、トイレに流して下さい。



➤ 注射後1週間は、以下の注意をおねがいします。

- トイレの後（排尿・排便後）や血液が手についた場合は、必ず石鹸で手をよく洗って下さい。



- 患者さんの衣類などの洗濯は、他の人の衣類とは別にし、血液や尿の付着したシーツ類や下着類は十分にすすいでください。



- ご家族や介護者の方が、患者さんの尿や血液や、それらがついた衣類などをとりあつかう場合には、手袋を着用して下さい。また、尿や血液に触れた場合や作業後には、必ず石鹸を用いてよく手を洗って下さい。



- 特に失禁のある患者さんの場合は、ビニール製のシーツを使用することも推奨されています。
- 家族で使用したオムツは、ビニール袋に入れ内容物がもれないように封入して、一般ごみとして処理して下さい。



➤ 導尿カテーテルを使用している場合は、以下の注意をして下さい。（投与後1週間）

- 導尿カテーテルに付随する尿パック中の尿はトイレに捨て、水を2回流し、処理後はよく手を洗って下さい。

おわりに

以上ご説明いたしました、このお薬の注射後の放射線に関する注意事項よりも、患者さんご自身の治療が優先されますので、容態に重要な変化があれば、すぐに医師や看護師に伝えて下さい。また、このお薬による治療、又は放射線に関係したことについて、少しでもわからないことや、心配なことがあれば、いつでもご遠慮なさらずに、質問して下さい。

なお、よくある質問に関して、「患者さん用のQ&A(質問と回答)」をご参照下さい。